



令和2年度
2020.4~2021.3

れきはく もよおし案内



兵庫県立歴史博物館
Hyogo Prefectural Museum of History

〒670-0012 姫路市本町68番地 TEL 079-288-9011 FAX 079-288-9013
ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo>
ネットミュージアム「ひょうご歴史ステーション」
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo/historystation/index.html>

歴史講演会

「幕末・維新活躍の兵庫人」

友の会共催

歴史研究の最前線。研究成果をお話いただけます。

時間/各回14:00~15:30 場所/当館地階ホール
定員/100名(先着順) 費用/各回300円(友の会会員は無料)

7月 5日 ①「北垣国道と生野の変」
養父市社会教育委員 村上 義隆 氏

9月 6日 ②「大鳥圭介を通して見る明治期の世界と朝鮮半島」
神戸大学大学院国際協力研究科教授 木村 幹 氏

11月22日 ③「自若として驚かず〜巨大商社鈴木商店の女主人 鈴木よねの生涯〜」
神戸新聞社姫路本社代表 村上 早百合 氏

2月 7日 ④「姫路藩大目付亀山雲平の生涯」
播磨学研究所運営委員兼研究員 藤原 龍雄 氏

れきはくアカデミー

当日受付

当館の職員が研究結果を発表します。

時間/各回14:00~15:30 場所/当館地階ホール
定員/100名(先着順) 費用/無料

5月24日 ①「怪異から妖怪へ」 香川 雅信

6月21日 ②「明治時代ひょうごの水害と地域社会」 吉原 大志

8月 2日 ③「特別企画展『唱歌!西洋音楽がやって来た!』について」 山田 加奈子

10月10日 ④「仏教と女性—あの世とこの世—」 薬科 有美

12月 6日 ⑤「播但線の敷設過程—考古学的考察—」 鈴木 敬二

2月21日 ⑥「江戸絵画の絵そらごと」 山口 奈々絵

ミュージアム・パフォーマンス

週末の歴史博物館では、当館のスタッフがミニ講座やワークショップを準備して皆さんをお待ちしています。

実施/土曜日 14:00~ 日曜日 11:00~・14:00~

※他のもよおしと重複するときは実施しない場合があります。

ひょうご歴史文化フォーラム

兵庫の歴史ファンが集う場、兵庫の地域史研究者の研究発表・情報提供の場として年に一度のフォーラムを開催します。(日時等未定)

連続歴史講座

事前申込

新しい歴史が見えてくる古文書の世界。挑戦してみませんか。

場所/当館地階体験ルーム 定員/30名
時間/各回14:00~15:30 費用/無料

講座① 「古文書に親しむ(中世入門編)」 前田 徹
6月13日 6月20日 6月27日
申込 5月13日 5月27日
※この講座を初めて受講する方のみ申込できます

講座② 「古文書に親しむ(江戸時代の女性の手紙)」 大黒 恵理
10月24日 11月7日 11月14日
申込 9月23日 10月7日

講座③ 「古文書に親しむ(中世中級編)」 前田 徹
2月6日 2月13日 2月20日
申込 1月7日 1月21日

歴史の旅

友の会共催 事前申込

皆さんを歴史の舞台へご案内します。

定員/30名 ※参加者が20名に達しない場合は開催しません。
費用/実費+保険料(100円)

5月23日 ①「お城ができる前の姫路を歩く」
申込 4月11日 4月25日
(案内) 前田 徹
播磨国総社射橋兵主神社権禰宜 稲岡 佳浩 氏
※令和元年11月4日(月・休)開催の同名見学会にご参加の方は、お申し込みをご遠慮ください。

11月13日 ②「壇場山古墳と御着駅周辺の名所を訪ねる」
申込 10月2日 10月16日
(案内) 鈴木 敬二

地域講演会

「県内地域史の諸相をさぐるⅢ」

友の会共催

ふるさとの再発見、魅力ある歴史の世界へ誘います。

時間/各回14:00~15:30 場所/当館地階ホール
定員/100名(先着順) 費用/各回300円(友の会会員は無料)

6月 7日 ①「『日本書紀』と『風土記』からみた古代の播磨」
(『日本書紀』編さん1300年記念講演)
神戸大学大学院人文研究科教授
兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室 客員研究員 古市 晃 氏

9月13日 ②「禅詩文・刀剣銘・棟札からみた龍野赤松氏の展開」
兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室 歴史研究推進員 大村 拓生 氏

2月14日 ③「たたら製鉄について—宍粟・佐用を中心に—」
兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室 共同研究員 村上 泰樹 氏

教員セミナー(先生のための1日)

事前申込

歴史博物館を活用した魅力ある授業や、楽しい校外学習などを考えませんか。

場所/当館 定員/20名(教員・教育機関関係者対象) 費用/無料

7月31日 申込 5月15日 5月29日
内容については各学校に送付する募集案内でご確認ください。

いきいきトライアル

友の会共催 事前申込

専門家とものづくりに挑戦しませんか。

場所/当館地階体験ルーム 定員/25名 費用/1,000円(友の会会員 600円)

8月 8日 ①「姫路はりこ・お面の絵付け」 講師/松尾 哲 氏(松尾哲工房)
13:30~15:30 申込 7月8日 7月22日

8月22日 ②「杉原紙 紙漉き体験」 講師/多可町立杉原紙研究所職員
14:00~16:00 申込 7月22日 8月5日

9月26日 ③「篆刻教室〜印を彫る〜」 講師/中澤 光昭 氏(元公立高校長)
10:30~15:30 申込 8月26日 9月9日

ひょうご歴史研究室

◆ひょうご歴史研究室は、平成27年(2015)4月、県民の郷土に対する愛着を深め、「ふるさと意識」に根ざしたひょうご文化の発展・継承をめざし、兵庫県立歴史博物館内に開設されました。県内外の自治体や大学関係者などと連携して、

①「播磨国風土記」 ②赤松氏と山城 ③たたら製鉄
の3つのテーマを中心に研究をすすめています。

◆研究成果を公表するための「研究紀要」の発行や、県民向けの研究成果発表フォーラムを開催するほか、随時、関連企画もおこなう予定です。詳細は「ひょうご歴史研究室」HP(<http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekiken/>)をご参照下さい。

着付け体験

当日受付

大人も子どもも集合。十二単(正絹)や鎧兜を身につけて、タイムスリップしませんか。

費用/無料
場所/当館1階みんなの家
実施は毎日3回
(10:30~/13:30~/15:30~)

★各回とも抽選でお一人のみとなります。
★都合により中止または時間変更する場合があります。
★事前予約はできません。

兵庫県立歴史博物館友の会

郷土の歴史を愛好する人々が、歴史博物館を通して生涯学習や交流を深めています。会員に様々な特典があり、自分にあったボランティア活動にも参加できます。詳細は歴史博物館事業企画課まで。

会員特典 ①特別展開式への招待 ②観覧料金の免除 ③会報の送付
④会員限定の研修旅行への参加 ⑤講座料金の割引 ⑥図録の割引販売
⑦ミュージアムカフェでの飲食割引 ⑧ボランティア活動への参加 ⑨提携館の入場割引

| 年会費 | 正会員 | 年間会員(4月~3月) | 3,000円 |
|---------------------|-------------|--------------|--------|
| | | 後期会員(10月~3月) | 2,000円 |
| 高校生以下正会員 | 年間会員(4月~3月) | 2,000円 | |
| | | 後期会員(10月~3月) | 1,000円 |
| 家族会員(正会員の同居家族1名につき) | | | 1,000円 |

おもな活動紹介

- 研修旅行 ①「堺を訪ねる」 5月20日 ②「出石を訪ねる」 10月21日
- 史跡ウォーク 「矢野荘を歩く」 11月15日
- 「歴はく倶楽部」(イベントボランティアによる親子対象のワークショップ)

歴はく倶楽部

当日受付

みんなであそぼう

時間/各回10:00~11:30、13:00~14:30 場所/当館1階ロビー
定員/午前25名 午後25名(先着順) 費用/1回100円
どなたでもご参加いただけます。(小学校4年生以下のお子様は保護者同伴)

| | | |
|--------------------|--------|----------|
| ①「花のプローチをつくろう」 | 4月26日 | |
| ②「粘土で恐竜をつくろう」 | 5月31日 | |
| ③「木の列車をつくろう」 | 6月28日 | |
| ④「灯ろうとうちわをつくろう」 | 7月26日 | |
| ⑤「万華鏡をつくろう」 | 8月23日 | |
| ⑥「シデ棒をつくろう」 | 9月27日 | |
| ⑦「石ころアートをつくろう」 | 10月25日 | (先着100名) |
| ⑧「けん玉をつくろう」 | 11月22日 | |
| ⑨「革でクリスマスツリーをつくろう」 | 12月 6日 | |
| ⑩「鬼の面をつくろう」 | 1月24日 | |
| ⑪「おひなさまをつくろう」 | 2月28日 | |
| ⑫「うぐいす笛をつくろう」 | 3月28日 | ※は館外で実施 |

各もよおしへの申込み方法

★当日受付のもよおしは先着順となります。(受付開始時間は開演30分前 ※ただし歴はく倶楽部は10時と13時受付開始)

★事前申込みもよおしは、申込み期間中に当館ホームページからもしくは往復はがきにてお申込みいただけます。応募者が定員を超えた場合は抽選とし、結果は申込者全員にお知らせします。

ホームページ:各講座ご案内ページより申込み手続きを行ってください。
往復はがき:次の①~⑥を記入し、兵庫県立歴史博物館事業企画課までにお申込みください。①講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥友の会会員の方は会員番号

★参加費以外に交通費・入館料の実費が必要となる場合があります。
★小学生以下が参加する場合は、保護者同伴とし、保護者の氏名も記入してください。
★お申込みにあたっては、お一人ずつ手続きをしてください。
★グループなど複数名での参加ご希望には添えないことがあります。
※詳細は博物館事業企画課までお問い合わせください。

すべてのもよおしは内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

利用のご案内

★開館時間/午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
★休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は開館。翌平日休館)
★臨時休館/館内の保守点検のため、下記の期間は休館です。
令和2年(2020)12月14日(月)~令和2年(2020)12月21日(月)
令和2年(2020)12月28日(月)~令和3年(2021)1月4日(月)
★年末年始休館/令和2年(2020)12月28日(月)~令和3年(2021)1月4日(月)
★観覧料/①1階は無料です。2階ミュージアムカフェのみをご利用の場合、観覧料は不要です。
②ホール・体験ルームでの催しのみに参加される場合、観覧料は不要です。(別途参加費が必要な場合があります)

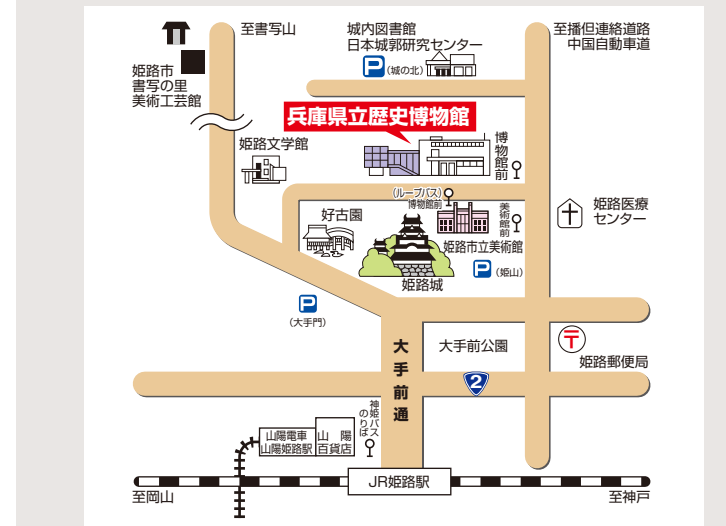
| | 一般 | 大学生 | 高校生以下 |
|---|------------|------------|-------|
| — | 200円(150円) | 150円(100円) | 無料 |

※特別展・特別企画展の際は、観覧料が変更となります。
※()内は20人以上の団体料金です。
※70歳以上の方は半額です。
※障がい者は別途割引があります。障がい者1人につき、介護者1人は無料となります。
※20人以上かつ総利用者数に占める障がい者の割合が半数以上の場合は、別途割引があります。

★ホール使用料/

| 区分 | 10:00~12:00 | 13:00~17:00 | 10:00~17:00 |
|--------|----------------|----------------|-----------------|
| ホール使用料 | 4,200円(1,050円) | 8,400円(2,100円) | 12,600円(3,150円) |

※()は20人以上かつ総利用者数に占める障がい者の割合が半数以上の場合の障がい者団体料金です。



【交通】
●JR姫路駅・山陽電車山陽姫路駅から、神姫バス「姫路医療センター経由」系統で約8分、「姫山公園北・博物館前」で下車
●城周辺観光ループバスで約8分、「博物館前」下車

【駐車場】
●周辺の有料駐車場をご利用ください。
●大型バスでご来館の場合は、事前に当館にご連絡ください。

表紙右上:幕末軍隊手形人形 19世紀 当館蔵(入江コレクション)(夏季特別企画展より)
表紙左上:三木翠山画「絹本着色田捨女画像」近代 個人蔵 丹波市立柏原歴史民俗資料館・田ステ女記念館寄託(秋季特別展より)
表紙下:石田蘭汀「四季風俗図屏風」(部分) 江戸時代 当館蔵(冬季特別企画展より)
表紙中央:クリッセ・アルドフアンディ著「怪物語」(国立民族学博物館蔵 撮影・大道雪代)(春季特別展より)

月別もよおし案内

*印のもよおしは、館外で実施されるんだよ。気をつけてね!



| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|------------|--|---|--|--|--|---|---|---|---|------------|---|--|---|
| 令和2年(2020) | 25日 特別展 「驚異と怪異」開幕 26日 歴はく倶楽部① 「花のプローチをつくろう」 | 20日 友の会研修旅行① 「堺を訪ねる」※ 23日 歴史の旅① 「お城ができる前の姫路を歩く」※ 24日 れきはくアカデミー① 「怪異から妖怪へ」 31日 歴はく倶楽部② 「粘土で恐竜をつくろう」 | 7日 地域講演会① 「『日本書紀』と『風土記』からみた古代の播磨」 13日 連続歴史講座① 「古文書に親しむ(中世入門編)」(1) 14日 特別展 「驚異と怪異」閉幕 20日 連続歴史講座① 「古文書に親しむ(中世入門編)」(2) 21日 れきはくアカデミー② 「明治時代ひょうごの水害と地域社会」 27日 連続歴史講座① 「古文書に親しむ(中世入門編)」(3) 28日 歴はく倶楽部③ 「木の列車をつくろう」 | 5日 歴史講演会① 「北垣国道と生野の変」 11日 特別企画展 「唱歌! 西洋音楽がやって来た」開幕 26日 歴はく倶楽部④ 「灯ろうとうちわをつくろう」 31日 教員セミナー | 2日 れきはくアカデミー③ 「特別企画展『唱歌! 西洋音楽がやって来た』について」 8日 いきいきトライアル① 「お城はりこ・お面の絵付け」 22日 いきいきトライアル② 「杉原紙 紙漉き体験」 23日 歴はく倶楽部⑤ 「万華鏡をつくろう」 30日 特別企画展 「唱歌! 西洋音楽がやって来た」閉幕 | 6日 歴史講演会② 「大鳥圭介を通して見る明治期の世界と朝鮮半島」 13日 地域講演会② 「禅詩文・刀剣銘・棟札からみた龍野赤松氏の展開」 26日 いきいきトライアル③ 「篆刻教室~印を彫る~」 27日 歴はく倶楽部⑥ 「シデ棒をつくろう」 | 3日 特別展 「女たちのひょうご」開幕 10日 れきはくアカデミー④ 「仏教と女性—あの世とこの世—」 21日 友の会研修旅行② 「出石を訪ねる」※ 24日 連続歴史講座② 「古文書に親しむ(江戸時代の女性の手紙)」(1) 25日 歴はく倶楽部⑦ 「石ころアートをつくろう」※ | 7日 連続歴史講座② 「古文書に親しむ(江戸時代の女性の手紙)」(2) 13日 歴史の旅② 「壇場山古墳と御着駅周辺の名所を訪ねる」※ 14日 連続歴史講座② 「古文書に親しむ(江戸時代の女性の手紙)」(3) 15日 友の会史跡ウォーク 「矢野荘を歩く」※ 22日 歴史講演会③ 「自若として驚かず ~巨大商社鈴木商店の女主人 鈴木よねの生涯~」 歴はく倶楽部⑧ 「けん玉をつくろう」 23日 特別展 「女たちのひょうご」閉幕 | 6日 れきはくアカデミー⑤ 「播但線の敷設過程—考古学的考察—」 歴はく倶楽部⑨ 「革でクリスマスツリーをつくろう」 14日月~21日月 臨時休館 28日月~ 年末年始休館 | 令和3年(2021) | ~4日月 年末年始休館 1月 24日 歴はく倶楽部⑩ 「鬼の面をつくろう」 30日 特別企画展 「絵そらごとの楽しみ」開幕 | 6日 連続歴史講座③ 「古文書に親しむ(中世中級編)」(1) 7日 歴史講演会④ 「姫路藩大目付亀山雲平の生涯」 13日 連続歴史講座③ 「古文書に親しむ(中世中級編)」(2) 14日 地域講演会③ 「たたら製鉄について—穴栗・佐用を中心に—」 20日 連続歴史講座③ 「古文書に親しむ(中世中級編)」(3) 21日 れきはくアカデミー⑥ 「江戸絵画の絵そらごと」 28日 歴はく倶楽部⑪ 「おひなさまをつくろう」 | 21日 特別企画展 「絵そらごとの楽しみ」閉幕 28日 歴はく倶楽部⑫ 「うぐいす笛をつくろう」 |

令和2年(2020)4月~令和3年(2021)3月の展覧会

1階歴史工房でも館蔵資料等を展示しています。
 春季 新収蔵資料ほか 秋季 やきもの/仏像
 夏季 昔の生活道具など 冬季 歴史資料など



内容を変更する場合がありますので、ご了承ください。

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|--|----|----|--|--|---|---|-----|----------------|----|----|--|
| 展示 | 特別展 驚異と怪異 — モンスターたちは告げる — 令和2年(2020) 4月25日~6月14日 | | | | | | | | | | | |
| | | | | 特別企画展 唱歌! 西洋音楽がやって来た — 明治の音楽と社会 — 令和2年(2020) 7月11日~8月30日 | | | | | | | | |
| | | | | | | | 特別展 女たちのひょうご — 千姫から緒方八重まで — 令和2年(2020) 10月3日~11月23日 月祝 | | | | | |
| | | | | | | | | | 臨時休館 年末年始休館 | | | |
| | | | | | | | | | | | | 特別企画展 絵そらごとの楽しみ — 江戸時代の絵画から — 令和3年(2021) 1月30日~3月21日 |
| | | | | ヨーロッパや中東においては、犬頭人、一角獣といった不可思議ではあるが実在するかもしれない「驚異」は、神の偉大な力を示すものととらえられ、自然に関する知識の一部として伝えられました。また、東アジアにおいては、流星や異形の生き物の誕生など、通常とは異なる現象は、天や神仏からの警告である「怪異」としてとらえられ、歴史書のなかに記録されました。 本展では、国立民族学博物館所蔵の民族資料を中心に、人魚、竜、怪鳥、一角獣など、さまざまな世界の想像上の生き物について紹介するとともに、警告・凶兆(モンスターム)を語源とする怪物(モンスター)の文化的な意味について考えてみます。 | 2006年、文化庁と日本PTA全国協議会が、親子で長く歌い継いでほしい日本の歌101曲を、「親子で歌いつごう 日本の歌百選」として選定しました。「日本の伝統文化として次世代に残したい歌」のアンケートを行い集まった895曲から選ばれたものでした。 実はそれらには、日本古来の歌は4曲しか含まれておらず、多くは明治以降に西洋音楽の枠組で作られた子ども向けの歌、唱歌などです。唱歌が生まれて約140年経ち、これらの歌は私たちの伝統文化と感じられるほど、私たちの身体になじんでいます。 この展覧会では、幕末における日本人と西洋音楽の出会いから、明治期の西洋音楽の導入、日本の音楽そして社会・文化に与えた影響などを唱歌を中心に紹介します。 | 江戸時代の女性たちは何を考え、どのように生きたのでしょうか。一般的には、当時の女子教訓書『女大学』などで理想とされた、従順で貞淑な女性像で語られることも多いかもしれませんが、その一方で、よりよい暮らしを求めて自ら考え、行動した女性たちの存在もまた各地に伝えられています。 本展では、千姫や田ステ女、大石りく、緒方八重などの著名な人物から商家や庄屋の女性など無名の人物まで、“ひょうご”ゆかりの女たちを多数取り上げながら、江戸時代の女性の多様な人生について考えます。 | 活気あふれる都市やのどかな農村風景。働く人々や遊びまわる子どもたち。四季を彩る花と鳥。江戸時代の絵画には、さまざまな景色や人、いきものが描かれますが、画家が見たものがそのまま絵になっているとは限りません。描かれるかたちには約束ごとがあったり、おめでたいイメージが重ねられたりします。また、物語の名場面や架空のいきものが描かれることもあります。「絵そらごと」とは、絵に誇張や美化が加わるものであることを表現した言葉ですが、それこそが絵画ならではの楽しみなのだとと言えるでしょう。虚と実の入り混じった、絵画における美の諸相をお楽しみください。 | | | | | |
| | | | | 人魚のミイラ (ライデン国立民族学博物館蔵) Collection Nationaal Museum van Wereldculturen. Coll. no. RV-360-10410 | 歌川芳員「散兵太鼓譜附双六」 1866年 当館蔵(入江コレクション) | 千姫姿絵 江戸時代 弘経寺(茨城県常総市)蔵 ※常総市指定文化財 | 源平合戦図屏風(部分) 江戸時代 当館蔵 | | | | | |